特別研究員（非常勤職員）採用試験

受　験　案　内

平成３０年度
入　　校

防　衛　大　学　校

目　　次

１．特別研究員（非常勤職員）採用試験受験案内・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１

２．筆記試験（専門科目）出題範囲〈研究補助（RA）・理工学〉・・・・・・・・・・・５

３．筆記試験（専門科目）出題範囲〈研究補助（RA）・安全保障学〉・・・・・・・・・６

４．「研究補助（RA）・理工学」出願書類及び選考要領（別紙１）・・・・・・・・・・７

５．「研究補助（RA）・安全保障学」出願書類及び選考要領（別紙２）・・・・・・・・９

６．「教育補助（TA）・理工学」出願書類及び選考要領（別紙３）・・・・・・・・・１１

７．「教育補助（TA）・安全保障学」出願書類及び選考要領（別紙４）・・・・・・・１３

８．志願票（様式１）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１５

９．推薦状（様式２）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１６

10. 研究実績等一覧〈教育補助(TA)・理工学、安全保障学〉（様式３）・・・・・・・１７

11. 研究計画書〈研究補助（RA）・安全保障学〉（様式４）・・・・・・・・・・・・１８

12. 研究計画書〈研究補助（TA）・安全保障学〉（様式５）・・・・・・・・・・・・１９

13. 課題論文用紙〈教育補助(TA)・理工学〉（様式６）・・・・・・・・・・・・・・２０

14. 課題論文用紙〈教育補助(TA)・安全保障学〉（様式７）・・・・・・・・・・・・２１

15. 論文等要旨〈教育補助(TA)・安全保障学〉（様式８）・・・・・・・・・・・・・２２

16. 修士論文梗概〈教育補助(TA)・安全保障学〉（様式９）・・・・・・・・・・・・２３

17. 理工学研究科前期課程の概要〈研究補助（RA）・理工学〉・・・・・・・・・・・別冊１

18. 総合安全保障研究科前期課程の概要〈研究補助（RA）・安全保障学〉・・・・・別冊２

19. 理工学研究科後期課程の概要〈研究補助（TA）・理工学〉・・・・・・・・・・・別冊３

20. 総合安全保障研究科後期課程の概要〈研究補助（TA）・安全保障学〉・・・・・別冊４

特別研究員（非常勤職員）採用試験受験案内

１　制度の概要

この制度は、非常勤職員として担当指導教官の所属する専攻・学科における研究補助業務又は教育補助業務に従事するとともに、研究科前期課程又は後期課程に学生として在籍し、防衛技術と安全保障に関わる教育を受けることにより、将来、我が国の防衛基盤に資する貢献が期待できる人材を育成するものです。

２　採用職種等

職　種	業　務　内　容	採用予定数
研究補助（ＲＡ）	担当指導教官の所属する専攻･学科における研究補助業務に従事するとともに、理工学研究科前期課程又は総合安全保障研究科前期課程に学生として在籍し、我が国の防衛技術と安全保障に関わる教育を受けながら研究を行う。	若干名
教育補助（ＴＡ）	担当指導教官の所属する専攻･学科における教育補助業務に従事するとともに、理工学研究科後期課程又は総合安全保障研究科後期課程に学生として在籍し、我が国の防衛技術と安全保障に関わる教育を受けながら研究を行う。	

３　受験資格

職　種	試験区分	受　験　資　格
研究補助（ＲＡ）	理　工　学	７ページ「別紙１」に示す受験資格による。
	安全保障学	９ページ「別紙２」に示す受験資格による。
教育補助（ＴＡ）	理　工　学	11 ページ「別紙３」に示す受験資格による。
	安全保障学	13 ページ「別紙４」に示す受験資格による。

この試験を受けられない者

１　日本の国籍を有しない者
２　自衛隊法（昭和２９年法律第１６５号）第３８条第１項各号に規定する者
（１）成年被後見人又は被保佐人
（２）禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終わるまで又は執行を受けることがなくなるまでの者
（３）法令の規定による懲戒免職の処分を受け、当該処分の日から2年を経過しない者
（４）日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加入した者

４　出願方法

（１）志願者は、下表に基づき職種及び試験区分に対応した、志望区分及び筆記試験（専門科目）の受験科目を選択してください。

出願書類受付後における職種、試験区分及び志望区分の変更は認めません。

職　種	試験区分	志　望　区　分	受験科目
研究補助（ＲＡ）	理　工　学	別冊１の３ページに示す専攻のうち１専攻を志望し、その専攻内の教育研究分野から、第３志望まで選択する。	５ページに示す科目から１科目を選択する。
	安全保障学	別冊２の１ページに示すコースから、第１志望と第２志望を選択する。	６ページに示す科目から１科目を選択する。
教育補助（ＴＡ）	理　工　学	別冊３の２ページに示す専攻内の教育研究分野から選択する。	筆記試験（専門科目）は実施しないので、受験科目の選択は要しない。
	安全保障学	志望区分は設けないので、志望の選択は要しない。	

（２）出願書類

上表の職種及び試験区分に従い、**７ページ（別紙１）から１３ページ（別紙４）**に示す出願書類を、各１通用意すること。

（３）出願手続

志願者は出願書類を取り揃え、防衛大学校総務部総務課人事第１係へ郵送又は持参して下さい。出願書類を郵送する場合は、封書の表に**朱書き**で**「防衛大学校特別研究員出願書類在中」**とし、**必ず簡易書留等（提出日が確認できるもの）**として下さい。

ア　出願書類受付期間

平成２９年４月１日（土）～ 同年６月２３日（金）
（郵送する場合）４月１日（土）～６月２３日(金)(必着)
（持参する場合）６月２２日(木)･２３日(金) 10：00～17：00

イ　出願書類提出先

〒239-8686　神奈川県横須賀市走水１丁目 10 番 20 号
防衛大学校総務部総務課人事第１係
電話　046(841)3810（内線 2027）

（４）注意事項

ア　出願書類受付後の記載事項の変更はできません。

イ　出願書類の返還はできません。

ウ　出願書類に虚偽の記載をした者は、合格（採用）決定後であっても取り消しとなることがあります。

５　選考要領

職　種	試験区分	選　考　要　領	
		１　次　試　験	２　次　試　験
研究補助（ＲＡ）	理　工　学	書類審査による。	７ページ「別紙１」に示す選考要領による。
	安全保障学		９ページ「別紙２」に示す選考要領による。
教育補助（ＴＡ）	理　工　学		11 ページ「別紙３」に示す選考要領による。
	安全保障学		13 ページ「別紙４」に示す選考要領による。

６　合格発表

第１次選考合格者発表	**平成 29 年 7 月 7 日（金）** 合格者のみ第１次選考合格通知書を送付（郵送）します。
最終合格者発表	**平成 29 年 11 月 10 日（金）** 合格者のみ最終合格通知書を送付（郵送）します。

７　最終合格から採用まで（採用の方法）

（１）最終合格者は、試験区分ごとの特別研究員（非常勤職員）採用候補者名簿に記載され、防衛大学校の非常勤職員として採用される候補者となります。

（２）防衛大学校で当該名簿の中から、各研究科課程における受け入れ可能人数等を考慮のうえ、候補者を選んで平成３０年２月下旬以降直接通知し、採用者を決定します。

（３）何らかの事情により、採用を希望しない場合は、最終合格通知書に同封する採用辞退届を速やかに提出してください。

（４）受験資格が見込みの者で採用決定された者は、速やかに卒業（修了）証明書を提出してください。

８　採用予定年月日

平成３０年４月１日

９　雇用期間

（１）研究補助（ＲＡ）

平成３０年４月１日から１年間とし、年度末の審査を経て最長２年まで更新します。

（２）教育補助（ＴＡ）

平成３０年４月１日から１年間とし、年度末の審査を経て最長３年まで更新します。

10　身分等

採用の日から、特別職の非常勤職員の自衛隊員となります。

（１）研究補助（ＲＡ）

試験区分「理工学」であれば理工学研究科前期課程の、試験区分「安全保障」であれば総合安全保障研究科前期課程の学生となります。

（２）教育補助（ＴＡ）

試験区分「理工学」であれば理工学研究科後期課程の、試験区分「安全保障」であれば総合安全保障研究科後期課程の学生となります。

11　勤務場所

防衛大学校

12　勤務時間及び給与等

（１）勤務時間

基本的に１日３時間程度

（２）給与等

勤務に応じ、時間給で支給します。時給額１，３４０円～（学歴及び経験年数によります）

（３）授業料

理工学研究科前期課程又は同後期課程、総合安全保障研究科前期課程又は同後期課程の授業料は徴収しません。

13　卒業要件・学位取得

（１）卒業要件

研究補助（ＲＡ）においては２年間、教育補助（ＴＡ）においては３年間で必要な単位を修得し、かつ卒業論文の審査及び最終試験に合格すればそれぞれの研究科課程を修了（卒業）となります。

（２）学位取得

卒業要件を満たし、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構に学位申請を行い、同機構の実施する学位審査に合格すれば、同機構から修士（理学、工学、安全保障学）又は博士（理学、工学、安全保障学）の学位が授与されます。

ただし、同機構への学位申請等に係わる費用は自己負担となります。

14　個人情報の取り扱いについて

（１）出願時に提出頂いた氏名、住所その他の個人情報については、「採用候補者選抜」、「合格者発表」、「採用手続」等の採用試験業務を行うために利用します。

（２）採用者に関しては、「職員人事関係業務」、「教務管理関係業務」、「学生支援関係業務」を行うためにも利用します。

（３）採用候補者選抜に用いた試験成績等の個人情報は、試験結果の集計・分析及び選抜方法の調査・研究のために利用します。

15　その他

（１）提出された書類等は、一切返却できませんので、あらかじめご承知おきください。

（２）受験のための旅費及び宿泊費は、支給されません。

（３）試験場及びその周辺には駐車はできませんので、自家用車での来場は禁止します。

（４）試験結果の問い合わせには応じません。

16　本受験案内に関する問合せ先

〒239-8686　神奈川県横須賀市走水１丁目 10 番 20 号
防衛大学校　総務部　総務課　人事第１係
電　話　０４６（８４１）３８１０（内線２０２７）
ＦＡＸ　０４６（８４３）６２３６
ＵＲＬ　http://www.mod.go.jp/nda/obaradai/rct_rata/
注：ＦＡＸを利用する場合は、必ずあて先（総務課人事１係）を明記すること。

筆記試験（専門科目）出題範囲　＜研究補助（ＲＡ）・理工学＞

科目		出題範囲
専門科目	電子工学	共通問題：電磁気学、電気回路、理工学専門英語 選択問題：電子通信工学（電気計測、電子理論、電子回路、電子物性、電磁波工学、通信工学、制御工学）から出題し、２問選択する。
	機械工学	共通問題：技術英語（英文和訳） 選択問題：材料力学（材料の弾性挙動、はり理論）、熱力学、流体力学、機械力学から２問、制御工学、機械材料、機械工作（切削機構、工具の摩耗と寿命、各種切削加工法）、自動車工学、船舶工学から１問選択する。
	航空宇宙工学	共通問題：物理（力学）、工業数学 選択問題：空気力学、材料力学、熱力学、航空機力学、制御工学から３問選択する。
	物質工学	共通問題：材料工学大講座を第１志望とする受験生は、固体物性、材料物理化学の２問、素材・エネルギー化学を第１志望とする受験生は、無機分析化学、有機化学、物理化学より２問以上選択する。 選択問題：熱統計力学、電気理論、材料力学、材料組織学、燃料化学、火薬学、生物化学より選択し、共通科目を含め、合計４問選択する。
	情報数理	共通問題：微分積分学、線形代数、技術英語 選択問題：微分方程式、複素関数論、確率統計、代数学から３問、および情報リテラシー、ディジタル回路、アルゴリズムとデータ構造、オペレーティングシステム、制御から５問出題し、３問選択する。
	境界科学	共通問題：物理学（力学、電磁気学、熱力学）、応用数学（微積分、ベクトル解析、線形代数、フーリエ変換、複素関数論）、専門英語 選択問題：量子力学、統計力学、回路論、連続体力学の各分野から出題し、１題選択する。
	地球環境科学	【地球宇宙科学大講座】 共通問題：基礎数学、基礎物理、専門英語について各１問ずつ出題し、計３問を選択する。 選択問題：気象学、海洋学、固体地球物理学全般、惑星・宇宙科学、音響学、地球環境計測工学の範囲から出題し、３問選択する。 【土木環境工学大講座】 共通問題：物理（力学（運動）主体）、数学（微分積分）の各１問を選択する。 選択問題：構造力学、水理学、土質力学、鋼構造学、河川・海岸工学、水環境学、交通計画学、コンクリート工学（鉄筋コンクリート工学を含む）、施工学、防災工学の範囲から出題し、４問選択する。

筆記試験（専門科目）出題範囲　＜研究補助（ＲＡ）・安全保障学＞

科　　目	主　な　出　題　テ　ー　マ
国際関係論	国際関係の主体、国力、国益、勢力均衡、相互依存、対外政策の形成、外交交渉、軍備管理・軍縮、国際体系、国際組織
国際政治史	ウィーン体制以降。特に第２次大戦後の冷戦史に重点を置く。地域としては、東西ヨーロッパ、ロシア（ソ連）、アジア・太平洋、中東、北アメリカにわたる。
公共経済学	市場の失敗（外部性、国際公共財を含む公共財の理論、クラブ財）、予算制度と財政政策、公共選択（投票行動、官僚制など）、組織の経済学（エイジェンシー理論、所有権の理論など）、社会保障制度（医療、年金など）
憲　　法	近代立憲主義の基本理念、憲法原理としての平和主義、統治機構の諸原理、人権論、日本国憲法制定史
国　際　法	慣習国際法、条約、国際法と国内法の関係、法主体、承認・承継、国家の基本権、領域、海洋法、航空宇宙法、国際化区域、国際関係における国家機関、人権法、国際責任、平和的紛争解決、安全保障、軍備管理・軍縮、戦争法・中立法
組織管理論	経営戦略、経営組織、ガバナンス、リーダーシップ、人事労務、経営管理論・経営組織論上の主要学説
行　政　学	官僚制、行政管理、政策立案と意思決定、行政統制と行政責任、行政活動の評価、公務員制度

別紙１

「研究補助（ＲＡ）・理工学」出願書類及び選考要領

１　受験資格

受験資格者は、次の各号のいずれかに該当する者です。

（１）大学を卒業した者及び平成３０年３月３１日までに卒業見込みの者

（２）学校教育法（昭和２２年法律第２６号）第１０４条第４項の規定により学士の学位を授与された者及び平成３０年３月３１日までに学士の学位を授与される見込みの者

（３）外国において、学校教育における１６年の課程を修了した者及び平成３０年３月３１日までに修了見込みの者

（４）外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における１６年の課程を修了した者及び平成３０年３月３１日までに修了見込みの者

（５）我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における１６年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び平成３０年３月３１日までに修了見込みの者

（６）専修学校の専門課程（修業年限が４年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び修了見込みの者

（７）文部科学大臣の指定した者（昭和２８年文部省告示第５号：旧大学令による大学又は各省庁設置法・組織令による大学校を卒業した者等）

（８）本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、２２歳に達した者及び平成３０年３月３１日までに２２歳に達する者

※上記（８）で出願しようとする者については、出願前に個別の入学資格審査を行いますので、平成２９年４月１４日（金）までに教務部教務課研究科係（電話：０４６－８４１－３８１０（内線２０８６））へ申し出てください。

２　出願書類

以下について、各１通用意すること。

ア　志願票	**様式１**
イ　受験資格を証明する大学等の成績証明書及び卒業証明書（卒業証明書の提出は、成績証明書に卒業年月日が記載されている場合、不要。）	
ウ　推薦状（大学又は研究所等の推薦書）	**様式２**
エ　ＴＯＥＩＣスコアシートの写し	

３　選考要領

（１）第１次選考

選考方法

書類審査による。

（２）第２次選考

ア　選考方法

試験による。

イ　試験日程等

（第１日目）　平成 29 年 8 月 21 日（月）			
時　間	区　　分	内　　容	場　　所
0900～0915	受　　付		社会科学館
0915～0925	受験要領の説明		
0930～1200	筆記試験※1 （専門科目）	５ページに示す科目から１科目を選択する。ただし、地球環境科学専攻地球宇宙科学大講座の教育研究分野を志望する者の専門科目は、「地球環境科学（地球宇宙科学大講座）」とする。	
1330～1630	口述試験※2,3	面接方式による質疑応答	理工学１～５号館

※１　専門科目の解答に当たっては、小型卓上計算機を貸与するので持ち込みは認めない。

※２　志願状況により、長時間待機する場合がある。

※３　口述試験終了後、特別研究員制度の理解度を確認する面接を実施する。

ウ　試験地

神奈川県横須賀市走水１－１０－２０　防衛大学校

エ　筆記試験の難易度

概ね一般大学大学院の工学系又は理学系研究科入試問題の当該科目と同程度。

別紙２

「研究補助（ＲＡ）・安全保障学」出願書類及び選考要領

１　受験資格

受験資格者は、次の各号のいずれかに該当する者です。

（１）大学を卒業した者及び平成２９年３月３１日までに卒業見込みの者

（２）学校教育法（昭和２２年法律第２６号）第１０４条第４項の規定により学士の学位を授与された者及び平成２９年３月３１日までに学士の学位を授与される見込みの者

（３）外国において、学校教育における１６年の課程を修了した者及び平成２９年３月３１日までに修了見込みの者

（４）外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における１６年の課程を修了した者及び平成２９年３月３１日までに修了見込みの者

（５）我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における１６年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び平成２９年３月３１日までに修了見込みの者

（６）専修学校の専門課程（修業年限が４年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び修了見込みの者

（７）文部科学大臣の指定した者（昭和２８年文部省告示第５号：旧大学令による大学又は各省庁設置法・組織令による大学校を卒業した者等）

（８）本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、２２歳に達した者及び平成２９年３月３１日までに２２歳に達する者

※上記（８）で出願しようとする者については、出願前に個別の入学資格審査を行いますので、平成２８年４月１５日（金）までに教務部教務課研究科係（電話：０４６－８４１－３８１０（内線２０８６））へ申し出てください。

２　出願書類

以下について、各１通用意すること。

ア　志願票	**様式１**
イ　受験資格を証明する大学等の成績証明書及び卒業証明書（卒業証明書の提出は、成績証明書に卒業年月日が記載されている場合、不要。）	
ウ　推薦状（大学又は研究所等の推薦書）	**様式２**
エ　研究計画書	**様式４**

３　選考要領

（１）第１次選考

選考方法

書類審査による。

（２）第２次選考

ア　選考方法

試験による。

イ　試験日程等

（第１日目）　平成 28 年 8 月 24 日（水）			
時　間	区　　分	内　　容	場　　所
0900～0915	受　　付		理工学５号館
0915～0925	受験要領の説明		
0930～1130	筆記試験（英語）	社会科学的内容を主とするもの。	
1330～1530	筆記試験（専門科目）	６ページに示す科目から１科目を選択する。	
（第２日目）　平成 28 年 8 月 25 日（木）			
時　間	区　　分	内　　容	場　　所
0900～1700	口述試験※1,2	研究計画書に基づく面接方式による質疑応答	社会科学館

※１　志願状況により、長時間待機する場合がある。

※２　口述試験終了後、特別研究員制度の理解度を確認する面接を実施する。

ウ　試験地

神奈川県横須賀市走水１－１０－２０　防衛大学校

エ　筆記試験の難易度

概ね一般大学大学院の社会科学系研究科入試問題の当該科目と同程度。

別紙３

「教育補助（ＴＡ）・理工学」出願書類及び選考要領

１　受験資格

受験資格者は、次の各号のいずれかに該当する者です。

（１）修士の学位又は専門職学位を有する者及び平成３０年３月３１日までに取得見込みの者

（２）外国において修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び平成３０年３月３１日までに授与される見込みの者

（３）外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び平成３０年３月３１日までに授与される見込みの者

（４）我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び平成３０年３月３１日までに授与される見込みの者

（５）国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法（昭和５１年法律第７２号）第１条第２項に規定する１９７２年１２月１１日の国際連合総会決議に基づき設立された国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者及び平成３０年３月３１日までに授与される見込みの者

（６）大学を卒業し、大学、研究所等において、２年以上研究に従事した者で、本研究科において、当該研究の成果等により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者

（７）外国において学校教育における１６年の課程を修了した後、又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における１６年の課程を修了した後、大学、研究所等において、２年以上研究に従事した者で、本研究科において、当該研究の成果等により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者

（８）本研究科において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、２４歳に達した者及び平成３０年３月３１日までに２４歳に達するもの

※上記（８）で出願しようとする者については、出願前に個別の受験資格審査を行いますので、平成２９年５月２日（金）までに教務部教務課研究科係（電話：０４６－８４１－３８１０（内線２０８６））へ、申し出てください。

２　出願書類

以下について、各１通用意すること。

ア　志願票	**様式１**
イ　受験資格を証明する大学院等の成績証明書及び修了証明書（ただし、成績証明書に修了年月日が記載されている場合、不要。）	
ウ　推薦状（大学（院）又は研究所等の推薦書）	**様式２**
エ　学術論文の写し	
オ　研究実績等一覧	**様式３**
カ　ＴＯＥＩＣスコアシートの写し	

※　出願書類を提出する前に、希望する指導教官と連絡をとり、研究内容等について相談すること。

３　選考要領

（１）第１次選考

ア　選考方法

書類審査による。

イ　合格後の必要書類

必要書類	様　式	課題提示日	提出締切日
課題論文	**様式６**	**平成２９年７月７（金）**	**平成２９年７月２８日（金）**

（２）第２次選考

ア　選考方法

試験による。

イ　試験日程等

平成 29 年 8 月 22 日（火）			
時　間	区　分	内　容	場　所
1300～1315	受　付		本部庁舎
1330～1730	口述試験※1,2	面接方式による質疑応答 （課題論文を参考とする）	理工学１～５号館

※１　志願状況により、長時間待機する場合がある。

※２　口述試験終了後、特別研究員制度の理解度を確認する面接を実施する。

ウ　試験地

神奈川県横須賀市走水１－１０－２０　防衛大学校

別紙４

「教育補助（ＴＡ）・安全保障学」出願書類及び選考要領

１　受験資格

受験資格者は、次の各号のいずれかに該当する者です。

（１）修士の学位又は専門職学位を有する者及び平成２９年３月３１日までに取得見込みの者

（２）外国において修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び平成２９年３月３１日までに授与される見込みの者

（３）外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し，修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び平成２９年３月３１日までに授与される見込みの者

（４）我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び平成２９年３月３１日までに授与される見込みの者

（５）国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法（昭和５１年法律第７２号）第１条第２項に規定する１９７２年１２月１１日の国際連合総会決議に基づき設立された国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者及び平成２９年３月３１日までに授与される見込みの者

（６）大学を卒業し、大学、研究所等において、２年以上研究に従事した者で、本研究科において、当該研究の成果等により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者

（７）外国において学校教育における１６年の課程を修了した後、又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における１６年の課程を修了した後、大学、研究所等において、２年以上研究に従事した者で、本研究科において、当該研究の成果等により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者

（８）本研究科において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、２４歳に達した者及び平成２９年３月３１日までに２４歳に達するもの

※上記（８）で出願しようとする者については、出願前に個別の入学資格審査を行いますので、平成２８年４月１５日（金）までに教務部教務課研究科係（電話：０４６－８４１－３８１０（内線２０８６））へ申し出てください。

２　出願書類

以下について、各１通用意すること。

ア　志願票	**様式１**
イ　受験資格を証明する大学院等の成績証明書及び修了証明書（ただし、成績証明書に修了年月日が記載されている場合、不要。）	
ウ　推薦状※1	**様式２**
エ　修士論文の写し又はそれに相当する論文※2	
オ　研究実績等一覧	**様式３**
カ　研究計画書	**様式５**

※１　志願者の安全保障に関する研究能力を熟知し、それを証明できる修士論文の指導教官によるものであること。修士論文の指導教官以外に志願者の研究能力をより熟知している専門家がいる場合は、その専門家が作成したものを提出することができる。

※２　志願者の安全保障に関する研究能力を最もよく示している過去の業績として、**①修士論文の写し及びその要旨（2000 字以内）、②執筆中の修士論文の梗概(8000 字以内)、③修士論文に相当する過去の業績（著書、論文、調査報告書等の写し）及びその要旨のいずれか１点**を提出すること。

※３　出願書類を提出する前に、希望する指導教官と連絡をとり、研究内容等について相談すること。

３　選考要領

（１）第１次選考

ア　選考方法

書類審査による。

イ　合格後の必要書類

必要書類	様　式	課題提示日	提出締切日
課題論文	**様式７**	**平成２８年７月８日（金）**	**平成２８年８月８日（月）**

（２）第２次選考

ア　選考方法

試験による。

イ　試験日程等

平成 28 年 8 月 24 日（水）			
時　間	区　分	内　容	場　所
0900～0915	受　付		理工学５号館
0915～0925	受験要領の説明		
0930～1130	筆記試験（英語）	社会科学的内容を主とするもの。 ※英和辞書の持込可（電子辞書不可）	
1330～1700	口述試験※1,2	面接方式による質疑応答（研究計画書、課題論文を参考とする。）	社会科学館

※１　志願状況により、長時間待機する場合がある。

※２　口述試験終了後、特別研究員制度の理解度を確認する面接を実施する。

ウ　試験地

神奈川県横須賀市走水１－１０－２０　防衛大学校

エ　筆記試験の難易度

概ね一般大学大学院の社会科学系研究科入試問題の当該科目と同程度。